

市民の願いにはこたえず 国保料、介護保険料値上げ

宇治市は、2月15日に2021年度予算を発表しました。新市長就任後初の予算案の規模は641億円で過去最大ですが、中学校給食の早期実施、保育所待機児の解消、少人数学級編成など市民の願いには応えずに、国保料・介護保険料を引き上げ、市集会所の廃止などを進めようとするものです。

新型コロナ対策

医療機関等の検査の拡大せず

新型コロナの影響で経営の厳しい中小企業に対し、経営改善の取組をすれば上限20～30万円の補助、創業支援には上限100万円補助などを創設しますが、規模が小さく、十分に営業を保障するのは困難です。

党議員団が求めてきた、医療機関・高齢者施設・障害者施設などの職員・利用者の定期的検査実施は予算化されていません。

市民負担の増加

国保料、介護保険料の引き上げ

市ではこの数年間、「財政健全化推進プラン」の名のもとに数々の公共料金が引き上げられてきましたが、来年度予算でも、国民健康保険料引き上げ(医療分1.3%、介護分8.2%)、介護保険料引き上げ(9.1%)をしようとしています。子育て支援のためのこどもの均等割り保険料の免除も実施しません。

「子育てにやさしいまち」?

保育所定員増はわずか10人

宇治市では、保育所の待機児が100人を超え、定員不足が明白なのに、予算案には

わずか10人分の定員増です。

保育所待機児童数の推移

年度	2018年	2019年	2020年
定員	3,930人	3,960人	3,960人
待機数	114人	118人	112人

市長は「子育てにやさしいまち」を掲げていますが、予算案はそうはなっていません。保育所の増設や定員増加が必要です。

市集会所3ヶ所廃止

下居・一ノ坪・伊勢田西の3か所の市集会所を廃止する条例改定案が提出されました。「地域の意向」といいますが、十分に住民の意見を聞いたとはいえません。市集会所の廃止は、地域コミュニケーションの衰退につながります。

中学校給食準備は10万円

中学校給食実施のための準備予算は10万円で、用地取得費は計上されていませんし、実施時期も示されていません。センター方式への固執から用地取得のいらない親子方式に転換して早期実施すべきです。

日本共産党宇治市会議員団

議員団だより

2021年2月21日 TEL0774-22-3141